

学校名：中央区立豊海小学校

所在地：中央区豊海町3-1

校長名：村上 隆史

児童数 895 学級数 26 教員数 41 職員数 6

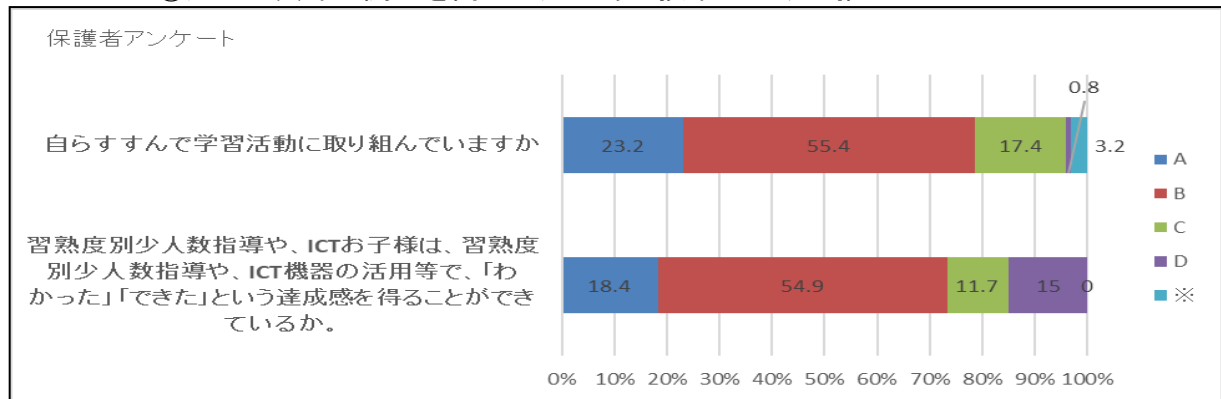
1 重点目標の達成状況及び取組状況

■十分達成 ■達成 ■要改善 ■至急改善 ■分からない

重点目標1【確かな学力の定着】

評価項目 ①カリキュラム・マネジメントの推進による教育活動の質の向上

②児童の興味・関心を高める魅力ある授業づくりの推進



「すすんで学習活動に取り組んでいる」は、保護者の79%、児童の88%が肯定的な評価であった。また、「授業で、できた、わかったと感じることが多いか」という質問紙調査では、児童の83%が肯定的な評価であった。学年別では4・6年生が都や区よりも高く、5年生は低い結果となった。学力調査の全国調査(6年)・区調査(4～6年)では、全学年の全教科で全国平均を上回る結果となった。一方で、保護者の肯定的な評価は73%に留まった。質問の中に、「ICT機器を使った学習」という文言が入っており、後述する重点目標以外の評価項目とも関連するが、タブレットパソコンを効果的に活用し切れていないと映っていることも影響していると考えられる。

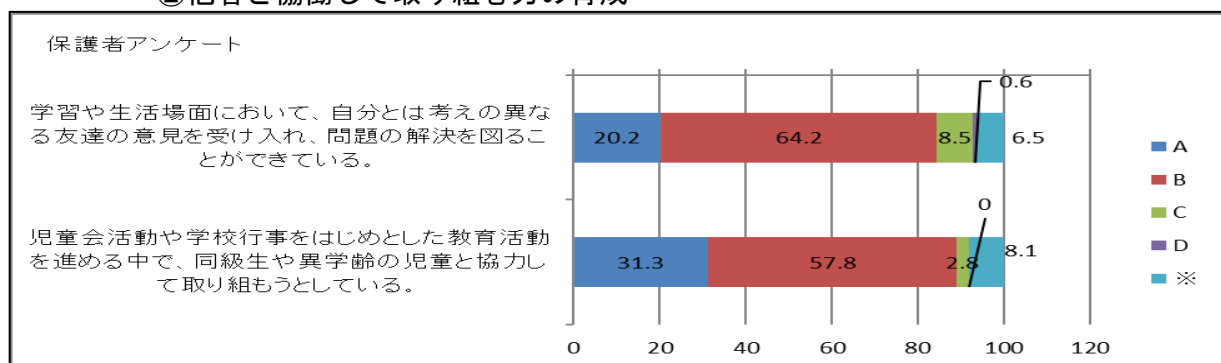
学力調査の結果では、東京都との比較ができる全国調査では、国語・算数・理科ともに都の平均も上回っている。算数科で個別に指導が必要な児童への支援として、豊海塾(放課後補習教室)を実施し、国語科については、朝の基礎・基本の時間等を活用して、個別対応をしてきた。

「学習規律」に関する質問では、児童の約90%が肯定的な評価であった。今年度は、学習や生活の規律を守るための「豊海スタンダード」で月別の重点目標を定めて取り組んできた。

重点目標2【豊かな心の育成】

①多様な価値観を受け入れる心の醸成

②他者と協働して取り組む力の育成



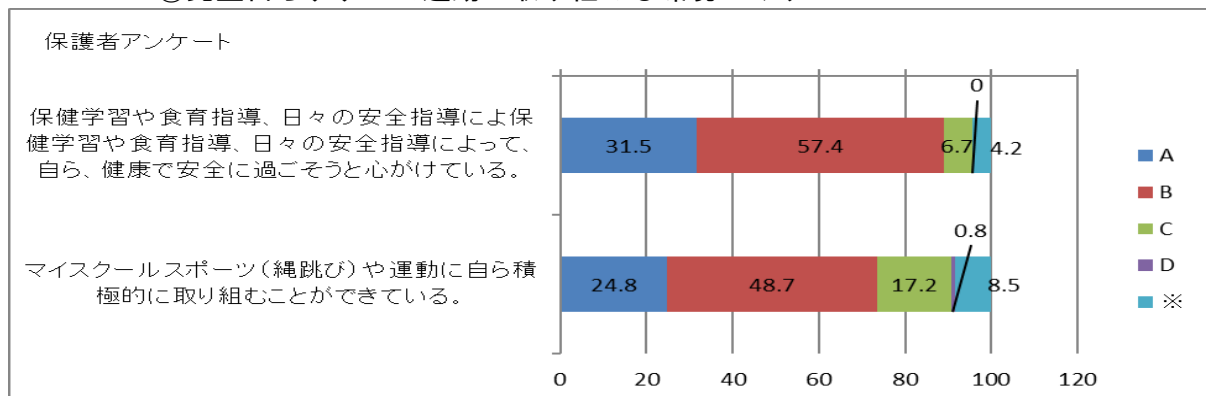
「自分とは異なる考えを受け入れる」に関する項目では、保護者の84%、児童の88%が肯定的な評価であった。

「協力して取り組む」に関する項目では、保護者、児童ともに約90%の肯定的な評価であった。コロナ禍の状況の中ではあったが、少しずつ制限を緩和したこともあり、体育学習発表会や展覧会、宿泊行事のほか、地域清掃や遊びなどの異学年交流を実施することができたことが大きいと考える。また、コロナ禍で控えていた豊海幼稚園との交流活動も様々な学年で実施することもできた。次年度はさらに活性化していけるよう計画していきたい。

重点目標3【健康な体づくりと体力の向上】

①健康及び安全教育の推進

②児童自らすすんで運動に取り組める環境づくり



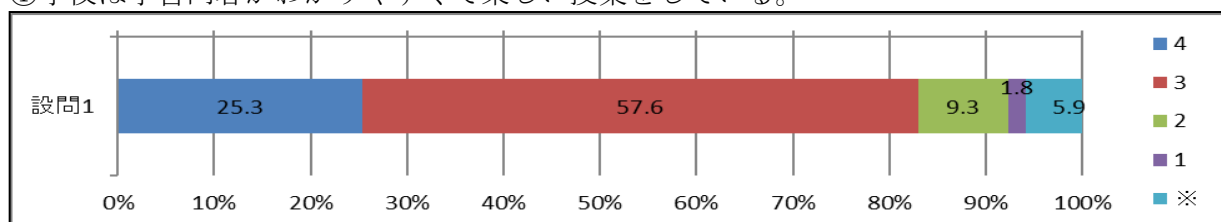
「健康で安全に過ごす」の項目については、保護者の約9割が肯定的評価であった。今年度から養護教諭が2名体制となり、保健指導が充実してきたことも大きいと考える。また、全体の項目で学校の安全確保や安全対策について高く評価いただいたが、月1回行っている安全指導、避難訓練等、自分の身は自分で守ることについて一定の評価をいただくことができた。

「マイスクールスポーツ（縄跳び）」の項目は、保護者、児童ともに約75%の肯定的評価であった。コロナ禍が緩和されてきたことで、校庭や体育館遊びの対象学年や回数を増やしたほか、長縄記録会を3年ぶりに開催することができた。

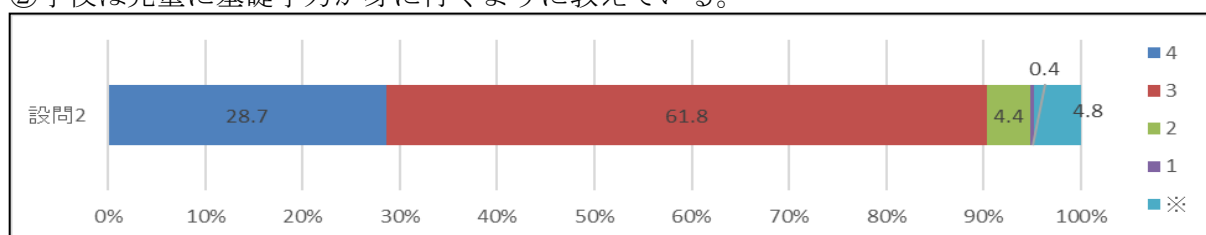
2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

■十分達成 ■達成 ■要改善 ■至急改善 ■分からない

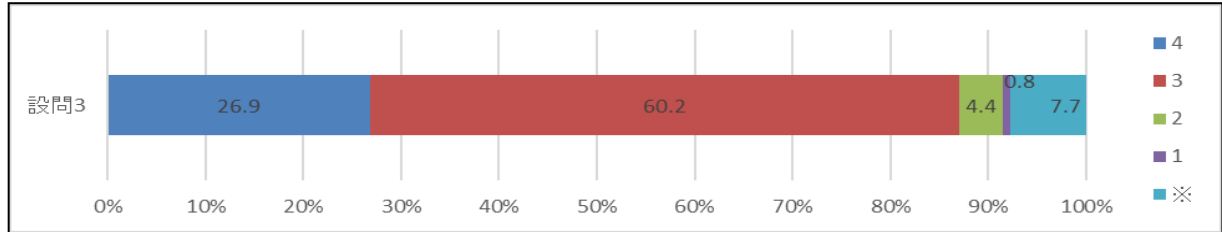
①学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている。



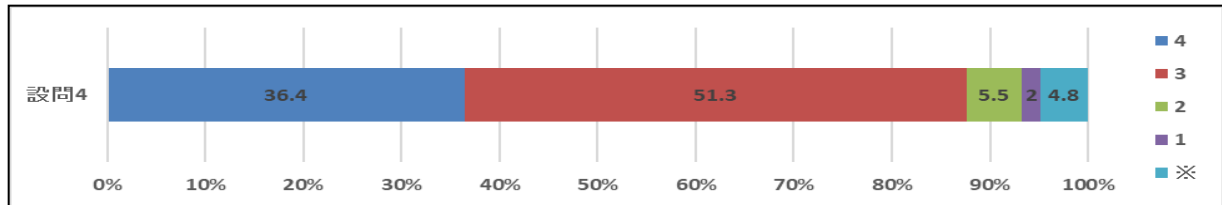
②学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。



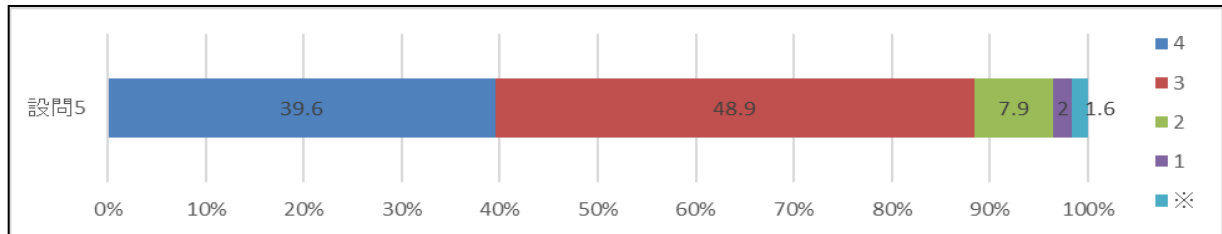
③学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している。



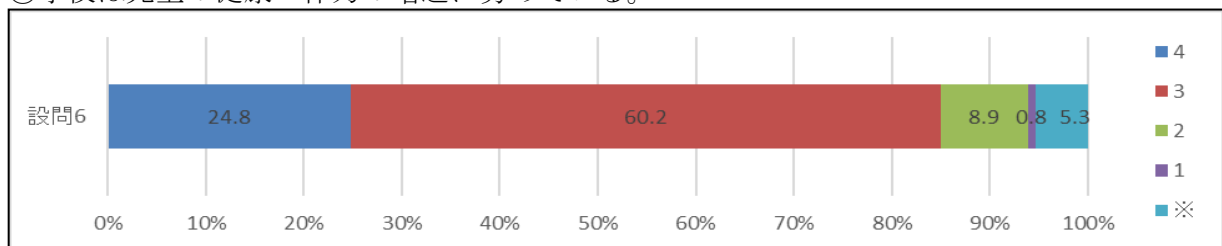
④学校は児童の努力を認めたり励ましたりして、温かく接している。



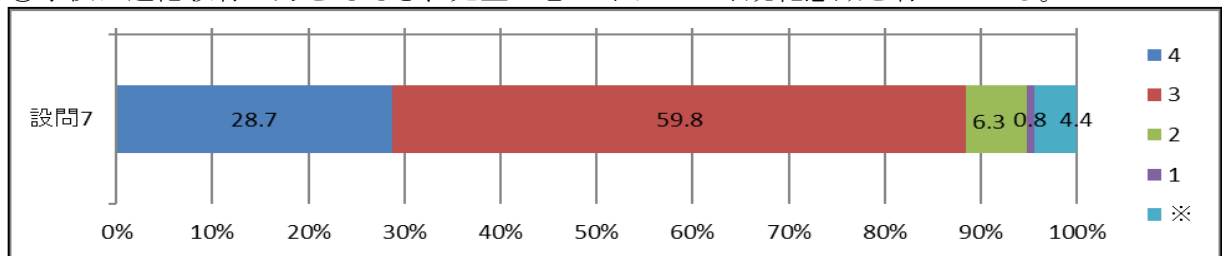
⑤児童は明るく生き生きと学校生活を送っている。



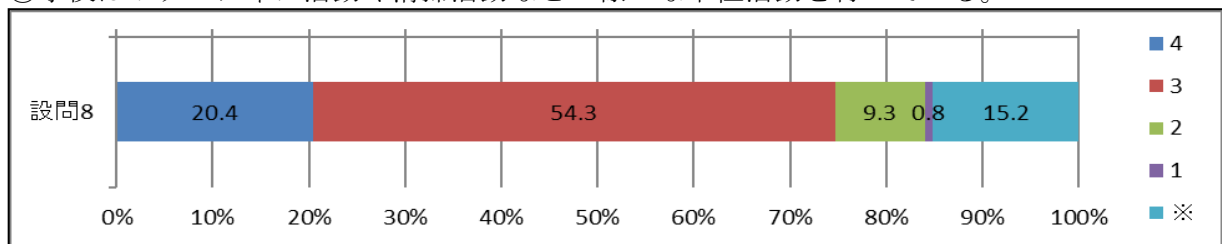
⑥学校は児童の健康・体力の増進に努めている。



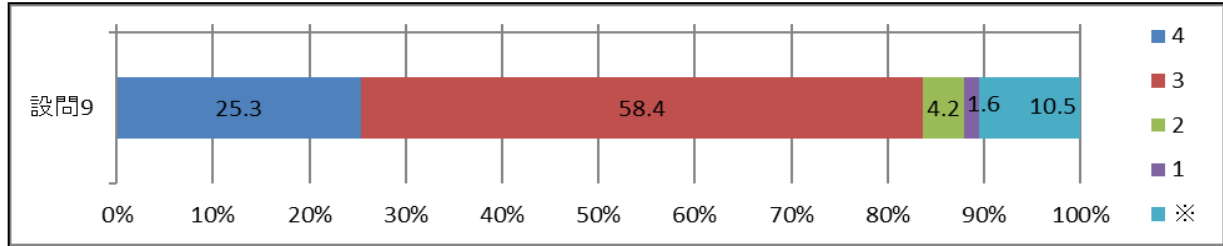
⑦学校は道徳教育に力をそそぎ、児童に思いやりの心や規範意識を育てている。



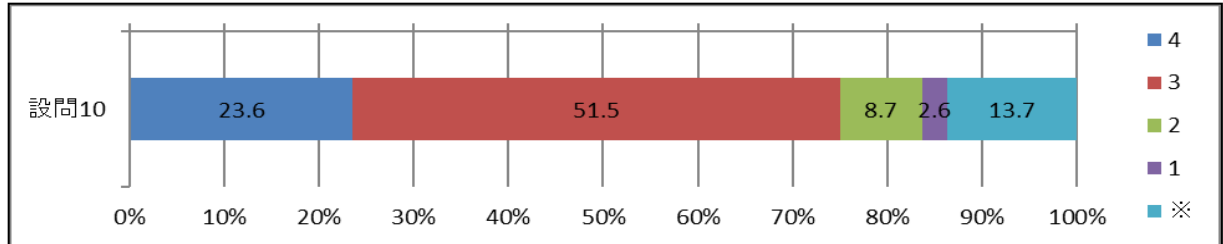
⑧学校はボランティア活動や清掃活動などの様々な奉仕活動を行っている。



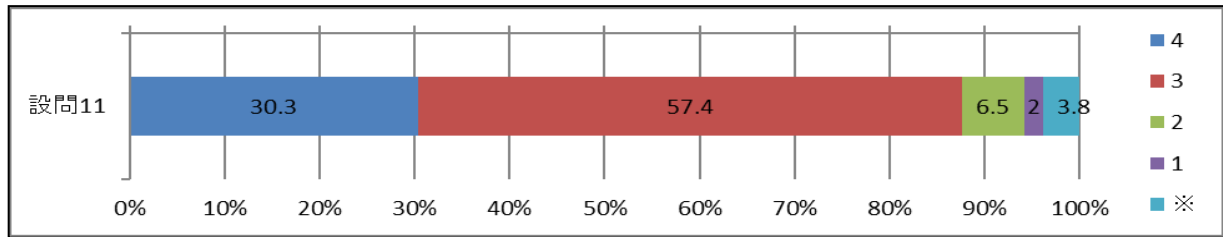
⑨学校は教育活動において人権を尊重する姿勢で子どもの指導にあたっている。



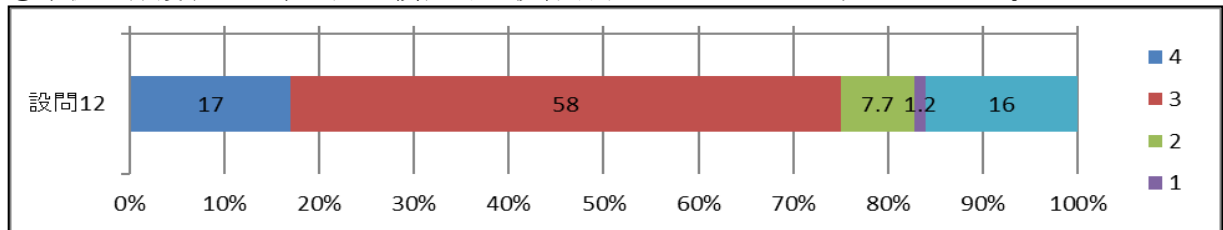
⑩学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている。



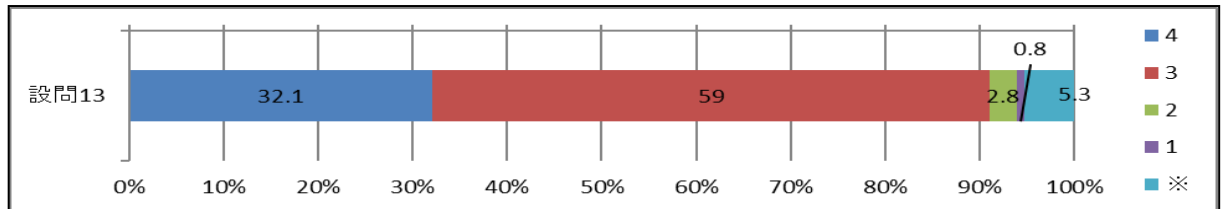
⑪学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している。



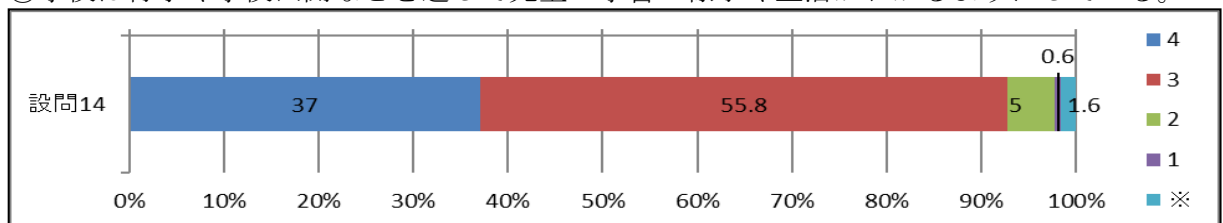
⑫学校は保護者や地域の人が積極的に教育活動にかかわれるようにしている。



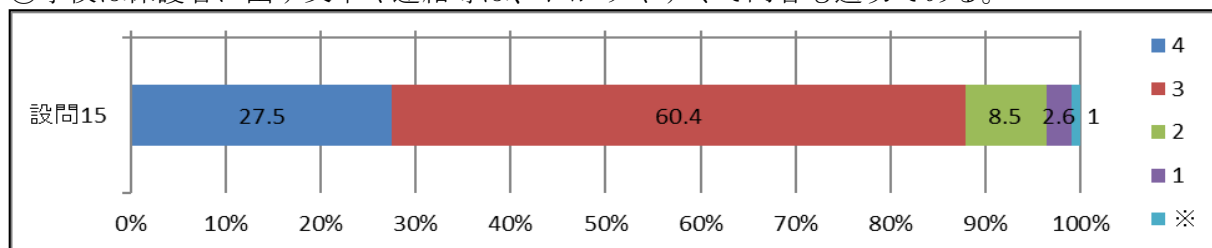
⑬学校は児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。



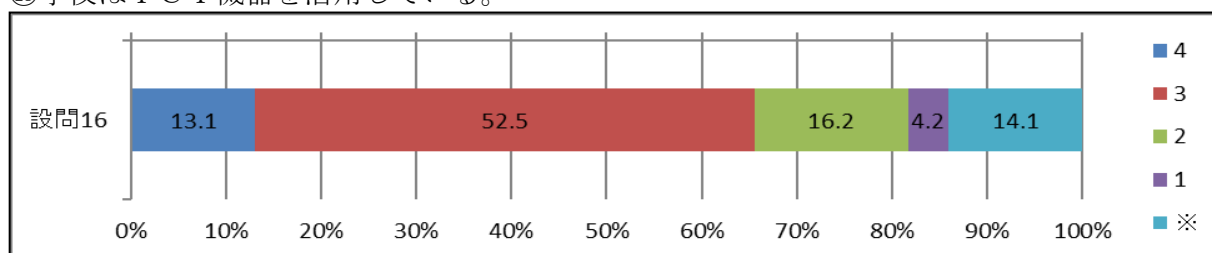
⑭学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。



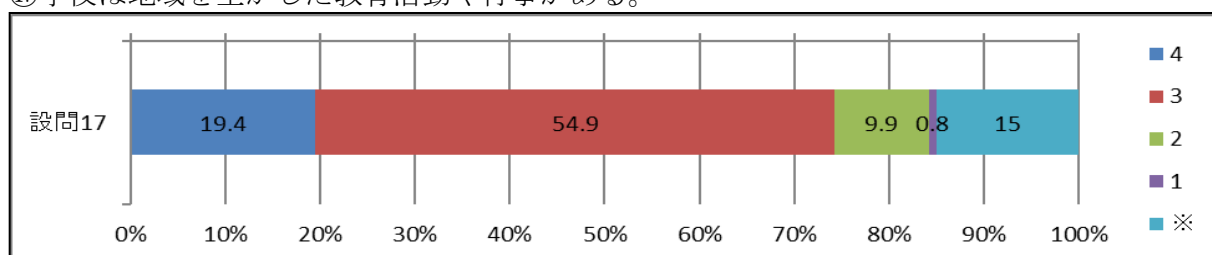
⑮学校は保護者に出す文章や連絡等は、わかりやすくても内容も適切である。



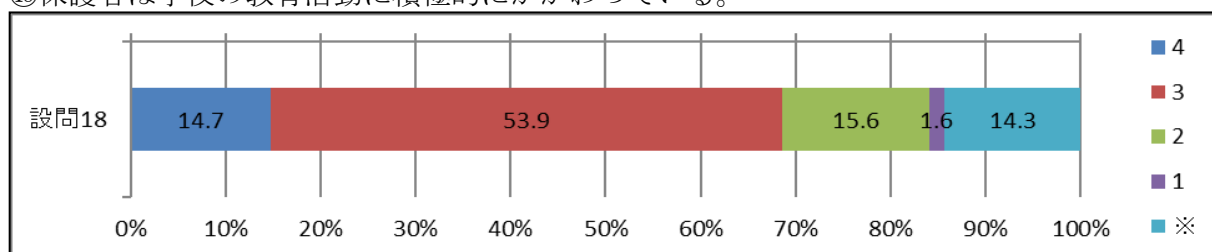
⑯学校は I C T機器を活用している。



⑰学校は地域を生かした教育活動や行事がある。



⑱保護者は学校の教育活動に積極的にかかわっている。



3分の2の設問で肯定的な評価が8割を超え、設問②「児童に基礎学力が身に付くように教えている。」設問⑬「児童の安全確保や安全対策に様々な配慮をしている。」設問⑭「学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている。」については、90%超の肯定的評価をいただいた。特に安全対策については、新型コロナウイルスの感染防止対策の取組のほか、学校周辺の再開発により通学路の変更を行う際への安全対策等について高く評価いただけたと考える。また、学校の様子が変わりやすいについては、今年度は3年ぶりに開催することのできた行事が多くあり、保護者の参観の機会が大幅に増えたことが影響していると考えられる。

一方で、設問⑯「I C T機器を十分活用している。」については、肯定的な評価が66%であった。これについては、教員間、学級間で利用状況が異なっていることや、学校公開等でのPR不足も原因であると考えている。令和5年度は、学級ごとに使用頻度に差が出ないように研修を行うことや学年で共通理解を図って効果的な活用法を探っていきたいと考えている。

3 今後の改善方策

令和4年度は、宿泊行事や長縄記録会など3年ぶりに多くの行事を実施することができた。令和5年度は、ガイドラインの変更に合わせて人数制限等を緩和していきながら行事運営を行っていきたい。ただし、大規模校で一度に多くの方が来校されると安全上危険なことが予想されるため、混雑防止や安全確保のために、行事や活動を分散して行うことは引き続き行う。

① 学校行事（原則人数制限は行わない）

- ・5月に体育学習発表会を表現及び徒競走を同日で開催し、学年入れ替えで実施する。
- ・2月に校内作品展を幼稚園と合同で実施する。
- ・年5回の学校公開を実施する。混雑防止のため2分割で行う予定である。

② 学校支援保護者ボランティア

- ・学校評価で、保護者が学校の教育活動に積極的に関わっているとの肯定的回答は7割弱であった。また、自由意見において、学校の教育活動にもっと保護者を活用しても良いのではないかとの意見をいただいている。
- ・これまでの各学年が保護者ボランティアを募る形から、PTAとも連携しながら、学校支援保護者ボランティアを立ち上げ、家庭科の実習や放課後補習教室の補助など、年間を通じて不定期で携わっていただけの方を募集し、保護者が学校の教育活動に積極的に参加できる環境づくりを整え、令和6年度からの本格実施に向けた準備を行う。

③ タブレット端末を活用した取組

- ・一人一台タブレット、大型提示装置、デジタル教科書等のICT機器を活用し、調べ学習、考えの整理、情報の共有、話し合い活動や発表、個に応じたドリル学習、プログラミング学習等、学習効果を高める授業改善を推進する。
- ・算数や理科を中心に、単元やねらいに応じてコンピュータを用いたプログラミング教育を実施し、教科等での学びをより確実なものとする。また、各教科等においてプログラミング的思考力を育む指導を実施する。
- ・ドリルソフトを活用し、各教科における、基礎基本の充実を図る。朝学習の時間や授業の終末の適用問題、復習の時間に取り組み、習熟度に応じた学習を充実させる。また家庭学習の1つとして継続して取り組み、基礎学力を定着させる。

④ 研究発表会

- ・令和4・5年度中央区教育委員会研究奨励校の指定を受けており、令和5年11月16日（木）に研究発表会を行う。
- ・令和4年度は、生活科や総合的な学習の時間における教科横断型のカリキュラムづくりの他、「一般財団 東京水産振興会」をはじめ、地域の企業等の協力を得て学習を進めてきた。